

ます。

普通交付税は、令和3年度の算定基礎に令和2年の国勢調査人口が用いられることによる減額と公債費などの増額を見込み、前年度に比較して約3300万円増の約34億3300万円を計上しております。臨時財政対策債は、国から示された伸び率による試算を踏まえ、前年度に比較して約9600万円増の約2億4400万円を計上しております。

歳出予算について、投資的経費は、前年度に比較して約11億6900万円減の約21億6300万円、人件費は、前年度に比較して約3100万円増の約19億8500万円、公債費は約300万円増の約10億4600万円を計上しております。



一般会計から特別会計と企業会計への繰出金等は、約11億2200万円を計上し、一般会計と6つの特別会計および2つの企業会計を合わせた当初予算案の合計は、約150億7200万円、前年度に比較して4・6パーセント、約7億2700万円の減であります。

また、一般会計の収支不足額は、前年度に比較して約1400万円増の約10億9800万円、同額を基金から取り崩し、収支の均衡を図っております。

今後も安定した財政運営を図るためには、基金残高を確保する必要があります。取り崩した基金を可能な限り年度内に積み戻すことができるよう、さらなる自主財源の確保と経費節減

に努めてまいります。

国は、現時点において、新型コロナウイルス感染症対策のために多額の赤字国債の発行を余儀なくされるなど極めて厳しい財政状況にあり、今後、地方公共団体が感染症対策と経済対策の両立を図りつつ、行政サービスを持続的かつ安定的に提供するための財源の見通しは、以前にも増して不透明な状況にあります。

このように、地方財政を取り巻く環境は厳しさを増していることから、今後の地方財政対策に注視しつつ、財政健全化の取り組みを強化し、『第6期厚岸町総合計画』に掲げた財政健全化指標の目標達成に努め、将来にわたって持続可能で安定的な財政運営を推進してまいります。

むすび

以上、令和3年度の町政を執行するに当たっての基本姿勢と主要な施策の概要について申し述べました。いつの時代でも、政治に最も大切なことは、国民との信頼関係です。「たみしん「民信無くんば立たず」こうし孔子の説いた言葉です。

これは、政治を行う人が、国民の信頼を失ったら、政治は成り立たないということを示唆していると思います。

私は、せんてつ先哲の言葉を自らに言い聞かせつつ、厚岸に熱い思いを抱く町



民の皆さんと心をひとつにして、信頼される町政を推進してまいります。「この厚岸に生まれて良かった」と思える『誇りあるまち』づくりを、共に成し遂げようではありませんか。先人たちが、さまざまな困難を克服しながら、現在の厚岸町の礎を築き上げてきた『たゆまぬ努力や果敢に立ち向かった勇氣』などに思いを馳せながら、すばらしい厚岸の魅力を再認識し、次世代へと手渡していくことこそが今を生きる私たちに課せられた使命です。

町議会議員の皆さん、そして町民の皆さんの一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。令和3年度の町政執行に当たっての、私の所信いたします。